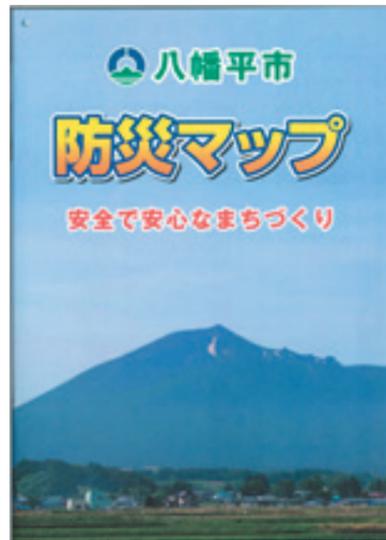


# 備え

いつ起こるか分からない自然災害で、身を守るには日頃からの備えが重要です。自宅や家の周りの安全確認、非常時持ち出し品、家庭内での食料や水などの備蓄品、家族の安否確認方法、地域での備えや助け合い——など、備えはいくつあってもいいものです。主な備えを以下に掲載しますので、チェック回してみましょ。

- 家具の転倒、落下防止など安全対策をしている
- 自宅周辺の災害リスク(各種災害の危険予測)を把握している
- 防災備品が用意され、充電や賞味期限を定期的を確認している
- 非常時に持ち出す物を準備し、すぐに取り出せるようにしている
- 避難場所や集合場所、非常時の連絡方法が決まっている
- どの時点で避難するか、家族全員が理解している
- 近所同士の協力体制が日頃からできている
- 地域で過去にどんな災害が発生したか把握している



## 防災マップを 活用しよう!

防災マップは、土石流や急傾斜地別の土砂災害警戒区域、河川が氾濫し洪水が発生した時の浸水深別の想定区域、平成25年9月豪雨で浸水した区域を色分けして表示しています(図1)。また、洪水時の対応方法や地震発生時取るべき行動などが記載されています(図2)。その他、避難所リストや非常時持ち出しリストも盛り込まれた、まさしく災害に備えるための「教科書」です。



【写真】八幡平市防災訓練(9月6日)  
台風に伴う大雨により土砂崩れの発生、河川の決壊、家屋の浸水・倒壊、水道・電気などのライフラインの損壊、集落の孤立、さらに落雷による火災が発生したとの想定で、田山コミュニティセンターと田山小周辺で行いました。



田村正彦市長と協定書を手にする高橋会長(左)

**避難所長期化の不安解消**  
市と市ホテル協議会(会長 高橋三男 岩手ホテルアンドリゾート会長)は8月4日、災害時における宿泊施設の提供等に関する協定を締結しました。  
本協定の締結によって、市内で大規模災害が発生し、現在市から指定されている56カ所の避難所開設が長期化することが見込まれた際、同協議会員のホテルが2次避難所となります。  
同協議会に加盟する施設は7施設で、最大3500人の避難者の受け入れが可能です。



田村市長と協定書を手にする同センター古澤通規常務理事(右)

**迅速物資確保に強い味方**  
市とNPO法人コメリ災害対策センター(代表 榎雄一郎 理事 長)は9月17日、災害時における物資供給に関する協定を締結しました。  
本協定の締結によって、市内で災害が発生または発生する恐れがある場合、同センターでは市の要請に応じて、必要な物資を必要場所へ迅速に供給します。  
支援協定は本市で911件目。コメリグループは全国11カ所の流通センターに災害復旧用品を備蓄し、多数の自治体の有事に備えています。

## 民間企業とタッグで備え

# 災害発生 そのとき、あなたは？

近年、全国各地で局地的豪雨や台風などによる大規模な風水害や土砂災害が発生しています。もし、八幡平市でもそのような災害が起きた時、あなたは正しく迅速に行動できますか？命を守るためにできること、すぐにでも考えましょ。

ここ数年、降雨状況が局地的大雨、集中豪雨化しています。また、台風も巨大化傾向にあり水災害が発生する危険性は高くなっています。現在、コロナ禍の真ただ中ですが、自然は待たない。7月には熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で発生した集中豪雨が、大きな被害をもたらしました。  
本市は、比較的大雨被害が少ない地域ですが、いつこのような災害に遭うか分かりません。いざというときに、正しい行動を起こすため、事前の備えと「命を守る」意識を持つことが重要です。  
今号では①備え②情報収集③避難の三つのステップで、災害への意識向上を図ります。災害が起きた時「どうしよう」と迷っている間に危険はどんどん迫ってきます。取り返しのつかないことになる前に、災害について知識や情報を蓄え、リスクを知り、家族や知人と取るべき行動について話し合いましょ。  
【問い合わせ先】防災安全課 消防係(☎内線1261)

風水害や土砂災害などの対策では「情報収集」が大切です。天候の変化や河川の状況など、最新の情報を把握することで避難の準備や心構えができ、市から避難の呼び掛けがあった時に、すぐ行動を起こすことができます。

テレビやラジオ、インターネットからは気象情報だけでなく避難情報が随時提供されています。普段から情報収集をしっかりと、少しでも身に危険を感じたら、速やかに避難しましょう。

### いわて防災情報ポータル

発令されている警報や注意報をはじめ、河川、土砂災害、道路、地震・津波・火山、潮位・海洋の情報などさまざまな防災情報を掲載しています。



防災行政無線

市は災害時などに必要な情報を伝え、素早く適切な行動をとってもらえるよう、市内159カ所に防災行政無線屋外拡声子局(スピーカー)を設置しています。

放送を聞き逃したときは**0195-68-7313**へ

放送は直近の内容から、24時間以内の内容を自動音声で確認することができます。

# 避難

「避難」とは、自らの命を守るために安全な場所に移動したり、とどまったりすることによって「難を避ける」ことです。洪水や地震などの災害そのものを「難」と見てしまいがちですが、あなたに困難をもたらさなければ、それは「難」とはなりません。

また、避難<sup>イコール</sup>=避難所と考える人もいますが、避難所は行き場のない「難」を抱えた人のためにあるものです。現在は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、地域の避難所以外に親戚や知人宅などの避難先を想定しておくことも必要です。

暮らしている住まいが安全なのか把握したり、頼れる親戚や知人と連絡を取ったりするなど、避難にも事前の備えが大切です。

### 避難情報の警戒レベル

警戒レベル	とるべき行動	市が発令する避難情報	気象庁が発する警報など
5	命を守るための最善の行動	災害発生情報	大雨特別警報
4	全員避難	避難勧告 避難指示(緊急)	土砂災害警戒情報
3	高齢者や障がい者は避難	避難準備・高齢者等避難開始	大雨警報 洪水警報
2	避難行動を確認	—	大雨注意報 洪水注意報
1	災害への心構えを高める	—	早期注意情報

### 大雨による洪水

#### 土砂崩れが発生

#### 水平移動



より安全な所へ少しでも遠くに

#### 垂直移動



自宅や今いる建物の2階以上へ

状況を見極め  
適切な行動をとろう

これだけは必ず覚えてください!

警戒**レベル4**で**全員避難**

警戒**レベル3**で**高齢者などは避難**

